



ことばの力



からだの力



こころの力

園長室だより

城南学園幼稚園 園長 太田友子 令和3年4月8日



「小学校につながる確かな学びの基礎を培う」幼稚園

ご入園・進級、おめでとうございます

- 「共に育つ幼稚園」をめざして！ -



桜吹雪が舞い散る4月4日（日）、城南学園幼稚園に85名の新入園児がやってきました。

午後からは、年中・年長児の進級式を行い、新しい担任

の先生や友達との出会いがありました。いよいよ、新しい年度が始まりました。

さて、今年の幼稚園は、これまでの安心・安全の「見える幼稚園」から、子どもも保育者も「育つ幼稚園」へとステップアップします。全ての教職員が「初心の更新」を行い、子どもたちはもとより、保護者の皆さまと「共に」育っていけるよう、そして、幼稚園そのものが「育つ」をめざしていきたいと考えています。

人(子ども)は、本来、まわりのひとやこと、もの(環境)に関わりながら成長する存在だと言われています。ただし、安心できる環境という条件が付きます。

では、子どもにとって安心できる環境とはどんなことを意味するのでしょうか。お家の人と離れて不安でいっぱいの子供たち、まずは、担任の先生が大好き！と思える関係づくりからですね。

どうか、お家でも「いい先生だね。お母さんも大好き！」なんてお話していただけたら、大助かりです(笑)。間違っても「今度の先生？」など、子どもの前では決して言わないでください。一番大切な子どもを安心の反対、そう不安にさせてしまうからです。

信頼関係は互いに築きあうものです。子どもをまんな中に、大人同士が知恵を出し合って、より安心できる環境づくりを進めていけたらと思います。それが「共に育てるパートナー」です。



4月は「ご機嫌さんで登園できる」よう一緒に取り組みましょう。ご家庭では、「睡眠、食事、排泄」をしっかり整えてあげてください。幼児期の保護者に求められる役割です。

子どもの学びの基礎となる重要な要素で、これまでベネッセをはじめとする多くの研究調査から明らかになっています。子どもの学力の基盤づくりはご家庭から始まります。

嬉しいお声が届きました！



ご家庭の都合で転園される保護者の方からこのようなお手紙をいただきました。

「城南学園幼稚園への入園を希望したのは、幼稚園と保護者で子どもを共に育てるなど、説明会での園長先生からのお話に感銘を受けたからです。

また、未就園児向けの行事に参加した時には、園の雰囲気がとても明るく、先生同士が楽しそうにお話されているのがとても印象的でした。息子自身も、毎回幼稚園を訪れるのを楽しみにしていました。

入園してからもそれは変わらず、毎日本当に嬉しそうに登園していました。それは、園長先生をはじめとした先生方、職員の皆さま、素敵なお友達のおかげだと思います。息子にとって初めての集団生活の場所が城南学園幼稚園で良かったと、心から感謝しております。」

令和2年度 年少児の保護者

「雰囲気が明るい」はキーワードで、本園はとても大切にしています。明るい心をもって日々を過ごす！私自身も常に心がけていることです。

明るい心とはどんな姿でしょうか。反対の「暗い」心から考えてみましょうか。何かに拘ったり囚われたりする心でしょうか。

現在、コロナ禍で、決して生きやすい状況にはないのですが、だからこそ、「明るい心をもって生きる力」を意識して持ちたいものです。

目の前の子どもを見てみると、今、今を懸命に生きています。先入観も拘りもなく実に嬉々として生きています。「虚心坦懐」、あるがままに素直に向き合うことから、柔軟な対応が生まれ、明るい心につながるのではないのでしょうか。子どもから教えられる、気付かされるが多々あります。子どもと共に育つ大人でありたいです。